

第6回河南町協働のまちづくりを考える懇話会 資料

◎テーマ、『河南町に必要なコミュニティ活動等について』

○コミュニティとは、現地住民が日常生活におけるコミュニケーションを通じて、連帯感や信頼関係を築きながら、自主的に自分達の住む地域をみんなの力で住みよくしていく、地域社会や集まりのことです。

※例. 自治会、町内会、各種住民団体、地元NPO団体等

○コミュニティ活動とは、コミュニティが主体となって、自分達の住む地域の生活環境の維持・改善のために取り組む諸活動のことです。

※例. 自治会・町内会の各種活動、地域を対象にしたNPO活動、地域防犯パトロール、環境美化キャンペーン等

○コミュニティ活動は、生活環境の美化、青少年の健全育成、安全・安心の確保など様々な面で大変重要な役割を果たしています。それに加えて、地域のつながりの強化、参加者の自立性の向上といったメリットもあります。



★コミュニティ活動は協働のまちづくりの原動力の一つとして大変重要なものです。

★住民、議会、行政はコミュニティ活動への理解・協力をし、活性化させていく必要があります。

論点①【コミュニティ活動の尊重について】

○コミュニティ活動は、地域を支える大変重要な活動です。

○コミュニティ活動を活性化させるうえで、住民・議会・行政それぞれにコミュニティ活動について理解や尊重を求める場合、様々な求め方が考えられます。

※例. コミュニティ活動について尊重しなければなりません。

義 務

コミュニティ活動について尊重するものとする



コミュニティ活動について尊重するように努めます。

努力目標



★コミュニティ活動を尊重するという姿勢をどのように示すのか（義務とするのか、努力目標とするのか）。

論点②【コミュニティ活動の今後あり方について】

- コミュニティ活動は、行政だけでは手が届きにくい住民に身近な草の根活動において重要な役割を担っています。
- 今後協働のまちづくりを促進していくためには、コミュニティにおいて地域の課題解決に向けて、団体どうしの連携をも図りながら、より多様な取り組みを行うことや、そのための環境づくりが必要です。



- ★住民が、地域の課題の解決に向けて連携しながら取り組んでいくという趣旨を盛り込むべきか（どのような表現なら可能か）。
- ★現状を踏まえ、コミュニティ活動を活性化するための視点、方策などについて

論点③【地域の活力の維持について】

- 全国的に人口減少や少子化により若い世代が減少し、高齢者の支え手の減少や地域の活力の喪失が懸念されます。
- そのため本町では、子育て・教育にも力を入れ、若い世代の減少の緩和に努めています。
- 子どもの育成を支えることは将来、高齢者や地域に対する還元が期待されます。また、世代間交流にもつながることが期待されます。



- ★地域の活力を維持するために、子どもの育成を支えるような表現を条文に盛り込む方向でよいか、他に盛り込むべき表現はないか。

論点④【コミュニティどうしの連携について】

- コミュニティ活動は草の根活動で小規模であるために、住民全体に知られていないという実情もあります。
- 複数のコミュニティが共通の目的のもとに連携することで、互いの理解が深まり、大きな活動を行うことが可能になります。
- ※例. かなんフェス等の合同イベント



- ★コミュニティどうしが連携することの必要性についてどのように考えるか。

論点⑤【コミュニティ活動に必要な行政支援について】

○協働においては、住民の皆さんが互いに連携を図りながら、自分たちにできることは自分たちで積極的に行っていくことが大切ですが、コミュニティ活動を、支える要素として行政の支援も必要と考えられます。



★コミュニティ活動に対する行政からの支援として、どのような支援が望まれるか。

★あるいは、コミュニティの強化のために、どのような支援が望まれるか